

鎌倉市鏑木清方記念美術館 令和5年度（2023年度）第2四半期実績評価

1 美術館の利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

- ・第2四半期の来館者数は3,553人で、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値4,930人に対して、約72.1%の来館者数であり、評価水準の80%に満たなかった。
- ・昨年度の同四半期来館者数4,041人と比較すると488人、約12.1%減少した。

2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務

● 施設・設備の維持管理

- ・保守点検を計画どおり、適切に実施した。

● 施設の運営

- ・展覧会のチラシやポスター等を作成し、周知を積極的に実施した。
- ・窓口における受付及び施設案内を適切に実施した。
- ・SNSを活用し、館及び展覧会の周知を積極的に実施した。

3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務

● 展示・その他事業

- ・7月1日から9月10日までの企画展「大佛次郎没後50年季節の彩り—清方が描いた美人挿絵—」では、大佛次郎が創刊した雑誌『苦楽』において清方が担当した表紙や口絵などの作品を紹介した。9月14日から30日までは、特別展「清方×文学—紅葉への憧憬、鏡花との友情—」を開催し、本年が泉鏡花生誕150年、尾崎紅葉没後120年にあたるとして、清方と硯友社などの文学者との関わりについて、作品を紹介した。

* 展示替 8月に32点、9月に65点の展示替をそれぞれ実施した。

- ・計35回の展示解説を行い、318人が参加した。
- ・7月1日から9月10日まで、子ども参加プログラム「夏休み親子鑑賞」を開催した。(参加者157人)
- ・7月16日に日本画ワークショップ「日本画材を使って、うちわに絵を描こう!」を開催した。(参加者22人)
- ・7月26日に親子ワークショップ「親子で美術館に行ってみよう! 美術館で絵画鑑賞と日本画入門体験!」を開催した。(参加者18人)
- ・7月27日と28日に子ども参加プログラム「日本画材を使って絵巻物を描こう!」を開催した。(参加者36人)
- ・8月3日と4日に子ども参加プログラム「石版画の仕組みを体験してみよう!」を開催した。(参加者15人)
- ・9月24日に日本画ワークショップ「絵絹に日本画材を使って、絵を描こう」を開催した。(参加者23人)

● その他必要な業務

- ・鏑木美術品の調査研究を実施した。

4 鏑木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務

● 収集・保管

- ・作品の所在確認を7月20日、8月17日、9月22日に実施した。結果は良好であった。
- ・美術品の適切な温湿度管理を実施した。

● 調査・研究

7月

- ・紙平版画の素材についての調査
- ・清方と大佛次郎のかかわりについての調査
- ・清方の日記の調査
- ・清方の『美人画講話』についての調査
- ・清方の芝居写生の調査
- ・上村松園の初期の画集についての調査

8月

- ・久保田万太郎と清方の関わりについての調査
- ・大佛次郎のエッセイにおける清方の記述についての調査
- ・西田青坡のスケッチ帳の実見調査
- ・清方の日記の調査
- ・『美人画講話』の調査

9月

- ・異画会での清方の活動についての調査
- ・清方の随筆での九九九会に関する記述についての調査
- ・手話通訳付き展示解説の実例調査
- ・鑄木清方《採栗》の調査
- ・清方の日記の調査
- ・『美人画講話』の調査

いずれも計画どおり調査・研究を実施した。
出版物の管理及び保管を適切に実施した。

5 その他市長が定める業務等

● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書を決められた期日までに提出した。
- ・休館情報や展示替えに伴うホームページの情報更新を適切に実施した。
- ・市民への周知として市広報に展覧会の情報を掲載した。

● 事故・苦情対応

- ・特になし

● その他

- ・4月1日から引き続き、インターン生を受け入れた。(1名、慶應義塾大学大学院)
- ・5月15日から引き続き、近隣4館との連携でスタンプラリーを実施した。
- ・8月に高校生インターンシップと学芸員実習の受け入れを行った。
- ・8月に児童ホームでの出張日本画ワークショップを行い、子どもたちに日本画に触れる機会を提供した。
- ・7月と9月に大佛次郎記念館と連携し、ゆかりの地を巡るガイドツアーを行った。

6 全体評価

・第2四半期の来館者数は3,553人で、昨年同四半期の4,041人に比べて、488人・約12.1%分減少した。また、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値(4,930人)の約72.1%と、評価水準の80%に満たなかったため、5点減点とする。この四半期は、夏休み期間であることから子どもを対象としたイベントを多く実施したほか、展示解説も回数を増やして毎週行うなど、来館者の増加に向けた工夫して取り組んだ様子が随所に見られたが、例年以上の猛暑となったことから、来館者数が伸び悩んだと思われる。前述の来館者数の評価水準80%には満たなかったが、新たな来館者獲得に向けて積極的に取り組む姿勢は評価する。展示内容に関連した市外の施設との連携企画は、連携先施設の利用者が清方及び美術館を知る機会となる良い取り組みであり、次期四半期も引き続き、来館者の増加を目指し、企画の充実や広報活動に取り組まれない。

・高校生インターンシップと学芸員実習の受け入れや、児童ホームへの出張ワークショップといった社会貢献活動に積極的な姿勢は評価できる。

・作品及び資料の調査研究を引き続き計画的に進めるとともに、その成果をより多くの方々に伝えていくよう積極的に取り組まれない。

・施設の維持管理業務に関しては、日常点検をはじめ、各種定期点検を計画的に実施している。市への報告も徹底されており、適切な対応が取れている。

鎌倉市鏑木清方記念美術館 令和5年度（2023年度）第2四半期判定評価

| 評価項目 | 判定点 | 第4四半期 評価結果 | 減点 |
|---|-----|---------------|----|
| 1 利用の承認等に関する業務 | | | |
| 来館者数の動向 | | | |
| 入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く) | 0 | × | 5 |
| 特別利用 | | | |
| 作品に悪影響が出ないような適正な承認を行っているか | 10 | ○ | |
| 2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務 | | | |
| 施設・設備の維持管理 | | | |
| 定められた点検が実施されているか | 5 | ○ | |
| 不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか | 5 | ○ | |
| 庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか | 5 | ○ | |
| 施設の運営 | | | |
| 館及び展覧会の周知が積極的に図られているか | 5 | ○ | |
| 3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務 | | | |
| 展示 | | | |
| 計画どおりに展覧会が開催されているか | 10 | ○ | |
| その他必要な業務 | | | |
| 展示以外の自主事業は適正に実施されているか | 5 | ○ | |
| 来館者ニーズの把握・反映につとめているか | 5 | ○ | |
| 4 鏑木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務 | | | |
| 美術品等の維持管理 | | | |
| 美術品の所在は確認されているか | 3 | ○ | |
| 温湿度管理など、美術品が適切に取り扱われているか | 5 | ○ | |
| 調査・研究 | | | |
| 計画どおり調査・研究が進められているか | 5 | ○ | |
| 出版物の管理・保管は適切に行われているか | 3 | ○ | |
| 5 その他市長が定める業務等 | | | |
| 事務処理 | | | |
| 決められた期日までに報告書は提出されているか | 5 | ○ | |
| 市との連絡調整はきちんとされているか | 5 | ○ | |
| 市と協議を行った事項は確実に実施されているか | 5 | ○ | |
| 固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか | 10 | ○ | |
| 苦情対応 | | | |
| 来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか | 5 | ○ | |
| 苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか | 5 | ○ | |
| その他 | | | |
| 研修等自己啓発の努力がされているか | 3 | ○ | |
| 災害時の対応ができるよう、準備はされているか | 3 | ○ | |
| 個人情報適切に管理されているか | 10 | ○ | |
| 減点の計 | | | 5 |
| 総 計 | 112 | | |

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

特記事項
特になし。

減額率

| 減点の合計 | 減額率 |
|-------|-----|
| 10～15 | 5% |
| 16～20 | 10% |
| 21～ | 20% |